

令和5年度

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

教室公開・情報交換会



2023/11/13

岩倉市

- ・ 県内で最も面積が狭い
- ・ 人口 47,796人
- ・ 外国人 3,108人
(令和5年10月1日現在)



集住地域



岩倉市小中学校（小・・・5校　中・・・2校）

日本語指導が必要な児童生徒数

249人　全体の約 8%

ブラジル



フィリピン



パキスタン



ネパール



ベトナム



インドネシア



トルコ



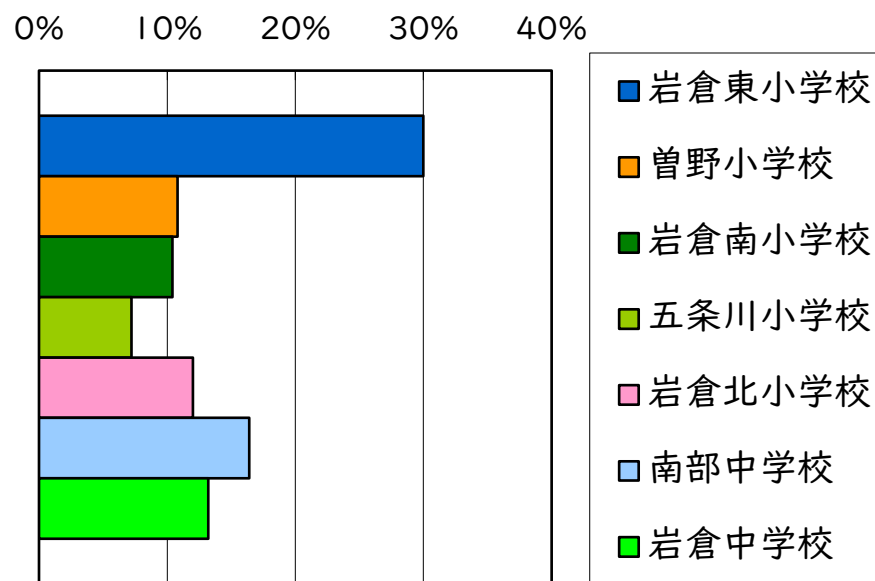
等

南部中学校の外国人生徒 46人(13%)

岩倉市

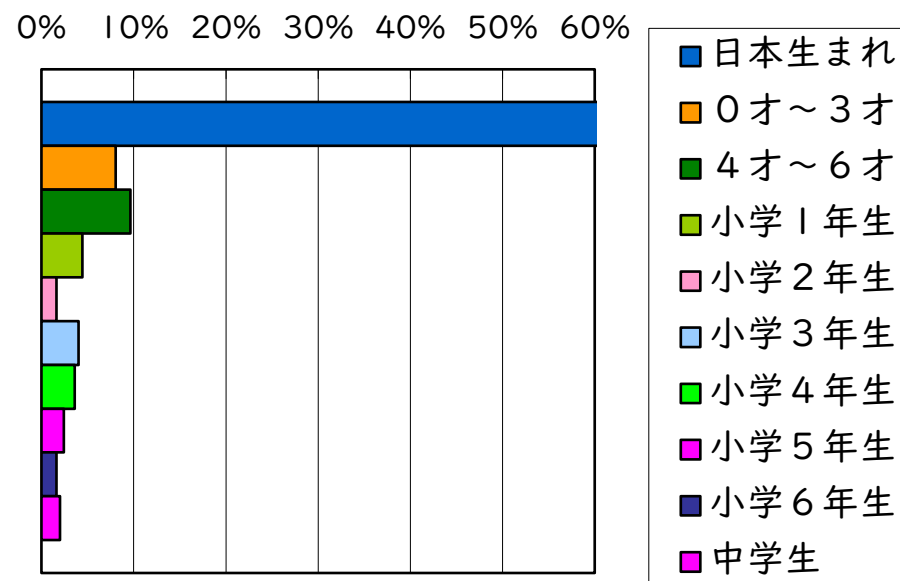
「個別の指導計画 児童生徒の記録」より

在籍状況



半数以上は南部中学校区
(岩倉東小・曾野小・南部中学校)

来日時期

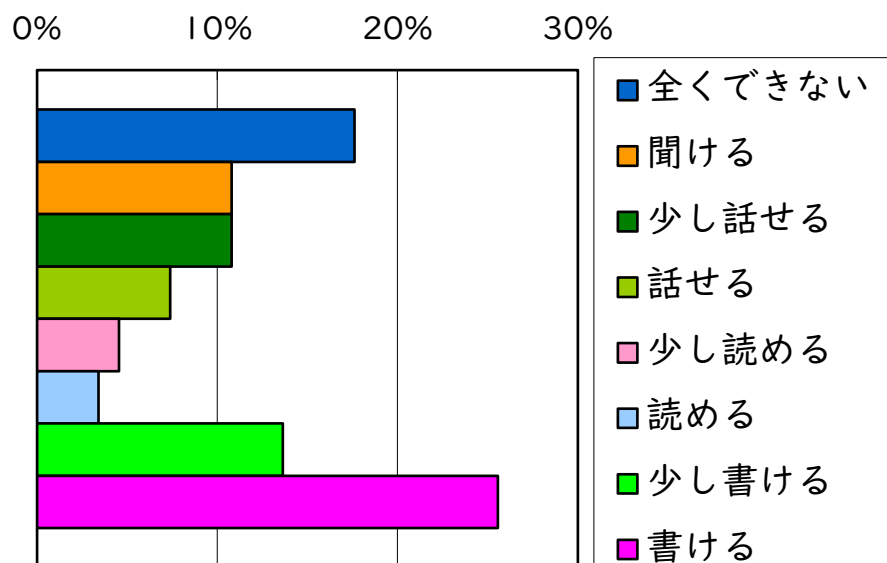


約80%が日本生まれ・
日本育ち

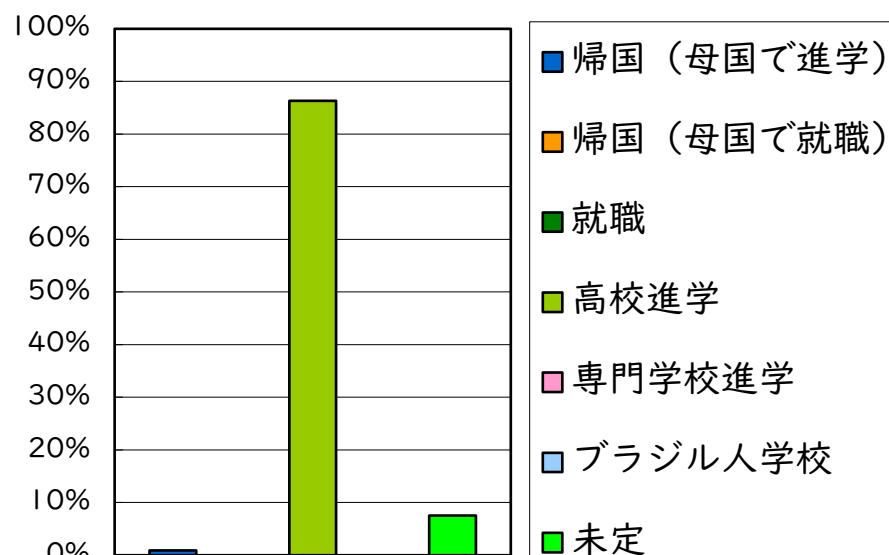
岩倉市

「個別の指導計画 児童生徒の記録」より

母語力



卒業後の希望



バイリンガル・
トリリンガルを目指して

日本での進学を
目標に

日本一愛のある『適応指導教室』

愛とは － 見捨てないこと

将来を見据え、背中を押してあげること

- ① 外国人児童生徒の地域適応・学校適応
→ 日本人児童生徒への好影響
- ② 市内すべての小中学校で同じ教育
- ③ 外国人への偏見の是正を学校から
- ④ 未就学・不登校児童生徒をつくらない
- ⑤ 母語保持
保護者とのコミュニケーションをサポート



岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室における
「日本語教育」とは（めあて）

在籍学級での活動・学習に参加 できる日本語力をつける

- ▶ 「多文化が共生する教室で仲間と共に学ぶ子」を育てるために、在籍学校の現職教育テーマや在籍学級の学習目標に沿いつつ、日本語教室でできる日本語指導・教科補助指導をおこなう。

入管法改正による外国人労働者の流入
デカセギから定住へ



「愛のある」日本語適応指導で育てたい児童生徒像

少子高齢化が進む中、日本の将来を担う
貴重な一員（人材）

アイデンティティーに誇りをもち、
日本と母国（世界）の架け橋となる存在

日本の学校に適応し、
学校生活で活躍できる

母語指導や国際理解発表を
通して、自分のルーツを強みに

連絡協議会 組織図

- ・教育委員会
(会長 教育長)
- ・市内 7 校
校長、教務主任
- ・養護教諭 代表
- ・日本語担当教員 15名
- ・外国人講師 3名

※年に 2 回協議会

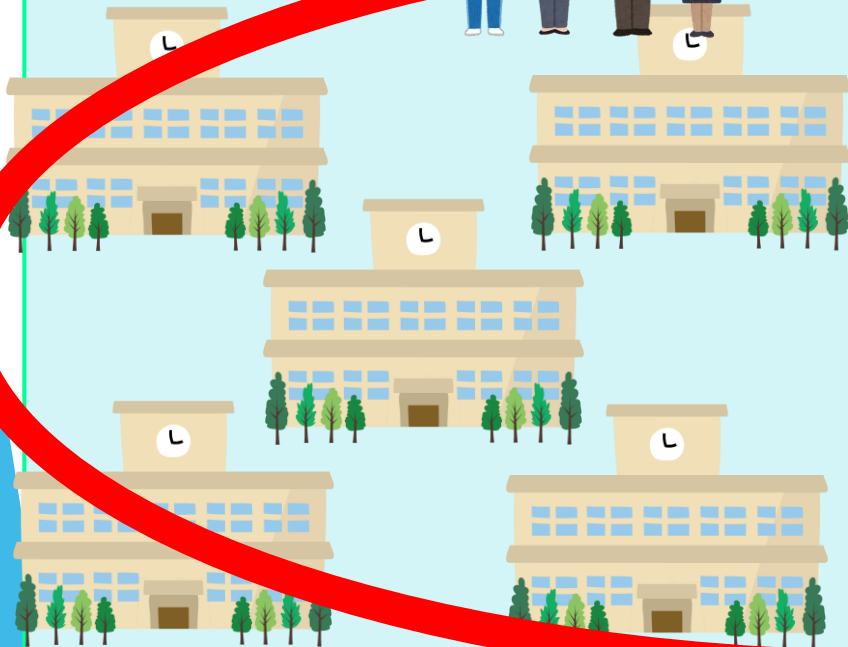
(組織のイメージ)

学校教育課
教育長
管理指導主事
指導主事



岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

小学校



中学校



岩倉市
日本語・ポルトガル語
適応指導教室としての
取組



市内7校
各校の実態に合わせた
取組

学校への
適応

日本社会への
適応

自己肯定感の
育成

- ①学校生活適応指導
- ②母語指導（ポルトガル語）
- ③各校でくふうされた授業づくり
- ④プレスクール
- ⑤小中通してのキャリア教育

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

取組紹介



令和5年度 教室公開

R5.11.13

① 学校生活適応指導

対象 来日直後で、日本語ができない児童生徒
※ 外国人学校からの転入生も含む

目的 日本の学校生活への適応を促す

時間 月～金曜日 1時間目～4時間目

期間 原則として4週間
(実態に合わせて ～8週間)

場所 岩倉東小学校 学校生活適応指導教室

① 学校生活適応指導

- 内容
- 学校生活への適応
 - サバイバル日本語／初期の文法指導
 - ひらがなの読み書き

② ポルトガル語指導

対象 ブラジルにルーツをもち、ポルトガル語指導を希望する児童生徒

- 目的
- 教科学習と言語能力形成のための母語
 - 母語であるポルトガル語の保持・伸長
 - 家族とのコミュニケーションの維持
 - アイデンティティーの形成
 - ブラジルの伝統・文化の継承

指導形態 原則として週に1回
ブラジル人講師が市内を巡回
1～4名ほどのグループ指導

② ポルトガル語指導

- 指導内容
- 運筆、読み書き
 - 会話、文法
 - 小学生レベルの読解と聴解

評価 学期ごとに到達度評価をし、保護者に通知

③ 各校でくふうされた授業づくり

- 小中連携で指導法研修と教材の共有
 - ・ 担当者会の定期開催
 - ・ 小中間の巡回指導
- モジュール式指導（小学校）
 - ・ 1単位時間を2～4分割(モジュール)
 - ・ ステップ(レベル)に応じて日本語指導と教科指導を組み合わせる
- 評価
 - ・ 独自の「日本語・教科テスト」および日常の指導から到達度評価を作成

③ 各校でくふうされた授業づくり

モジュール式
指導

指導項目①

指導項目②

指導項目③

指導項目④



多読チャレンジ(南部中)

2021		I 学期 1º Período	
学年の学習内容 評価 (もと) Conteúdo de estudos da série atual			
岩倉〇学校	小 6	〇〇〇 〇〇〇	
【教科に関する日本語】 Japonês relacionado com as matérias			
国語に関する内容 Conteúdo relacionado a Língua Japonesa			
話す・聞く conversação · audição		80% ★	Nível alcançado ●
読む leitura e interpretação			○
書く escrita			○
言語知識 conhecimento da linguagem			○
漢字 kanji			●
算数/数学に関する内容 Conteúdo relacionado a Aritmética/Matemática			
数・計算 números · cálculos		80% ★	Nível alcançado ●
文章題 problemas de matemática			○
図形・表・グラフ 等 geometria · tabelas · gráficos etc.			○
? - Excelente ? - Bom △ - Precisa se esforçar ? - Sem avaliação ※ - 評価せず・・・今学期において、指導を行っていないため評価をしていない。 ? - Sem avaliação・・・Neste período escolar, não teve aulas e por isso não é possível a avaliação.			
評 価		ステップ	
Avaliação		Step3	
Média	Step0 0~10	Step1 11~25	Step2 26~59
			Step3 60~79
			Step4 80~100
			★

7 言語対応評価シート

④ プレスクール

対象 来年度入学予定で、日本語力が身についていない外国人園児や、保育園・幼稚園に通っていない幼児

- 目的
- 入学後支障なく学校生活を送れるように、環境に慣れ親しんでもらう。
 - 学校のルールや簡単な日本語を学ぶ。
 - 新入学児の日本語力を把握する。

期間 一日入学終了後、全4回（1回60分）

場所 岩倉東小学校 学校生活適応指導教室

④ プレスクール

- 内容
- 生活日本語
(自己紹介、あいさつ、月日など)
 - 語彙
(身の回りのことば、気持ちを表すことば)
 - ひらがなの読み書き
 - 数の概念 (1～10までの数)

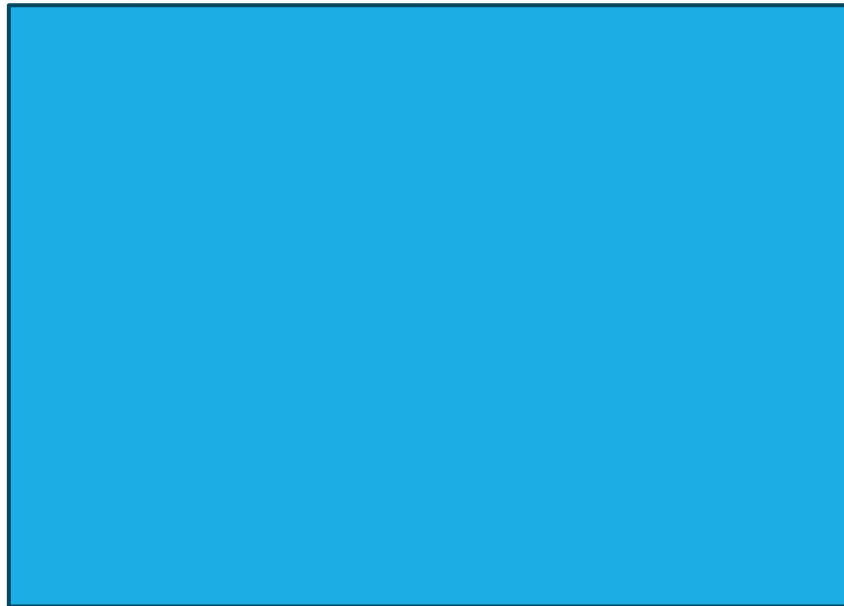
⑤ 小中を通してのキャリア教育

- 幼保との交流
 - ・ 次年度の入学予定児が通う園を視察
 - ・ 幼保・小の懇談で児童の家庭環境を把握
- 就学時健診
 - ・ 日本の学校生活について説明
 - ・ 日本語力をはかるテストを実施
 - ・ プレスクールへの参加を促す
- 入学説明会(小中)・進路説明会(中)
 - ・ 日本の教育システムについて説明
 - ・ 外国人向け進路説明会の実施
- 上級学校との情報交換会
 - ・ 高校・専修学校に訪問し、外国人支援や進学実績等について情報交換

⑤ 小中を通してのキャリア教育



上級学校との情報交換



幼保との交流

今後の指針

心の居場所

在籍学級で活躍できる
語彙力・表現力・学ぶ力

夢をもつ子を育てる
進路指導と情報提供

社会情勢の変化に合わせた、柔軟な適応指導